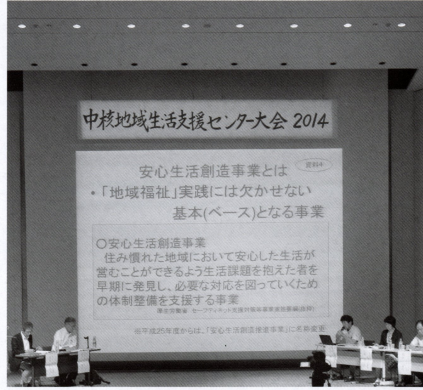


中核地域生活支援センターいちほら福祉ネット



平成 26 年 7 月 22 日 (火) 千葉市生涯学習センターホールにて『中核地域生活支援センター大会 2014』が開催されました。テーマは、「これからの地域社会のあり方を考える-支え合って生きること。自分を大切にすること」。

厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」部会長で中央大学法学部教授の宮本太郎氏による基調講演「誰もが排除されない地域社会へ」では、『これまでの日本の生活保障は、若く健康で障がいのない働き手がそうでない者を支えるという仕組み。しかし今や、非

正規社員の増加、貧困化、単身世帯や共働き世帯の増加、超高齢化と生産人口の減少という状況であり「支える側と支えられる側」という二分法は成り立たない。これからはお互いが補い合い、ともに支え合う新たな仕組みが求められている。」と話されました。その後のシンポジウムでは、千葉県における生活困窮への先駆的な取り組みと今後の課題が話されました。

社会の仕組みが大きく変化化する中、地域の暮らしを支えていく重要性を改めて強く感じた大会でした。

いちほら福祉ネット 0436-23-5300



千葉県障害者グループホーム等支援事業



8月28日に世話人研修会を開催しました。今回、世話人さんの話を聴くだけではなく焦りや挫けそうになってしまう気持ちを自由に発言してもらうことで、個々の支援を見つめることを目的に行いましたが、グループで悩みを聴いてもらいとても安堵していた世話人さんの表情が印象的な世話人研修会でした。

編集後記

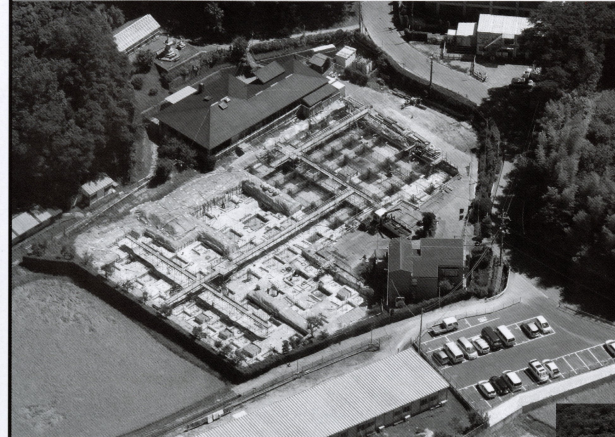
慣れ親しんだ学園も解体され、心なしか寂しい気持ちを抱えたまま、ききょうタイムズ62号のスタートとなりましたが、沢山の行事を経て、利用者様の笑顔に癒され、今回も無事編集を終える事が出来ました。工事も順調に進み、私達も2014年下半年も気持ちを引き締めて頑張りたいと思います。

ききょう タイムズ TIMES

発行：社会福祉法人ききょう会 編集：吉沢学園編集部
〒290-0523 千葉県市原市吉沢 117 番地 TEL.0436-98-1562 FAX.0436-98-1398

No.62 平成26年10月1日発行

シリーズ 新園舎への道 part2



仮設での生活も半年が過ぎ、暑い夏がようやく過ぎようとしています。思えば、アスベスト含有調査を行った結果、外壁や屋根などにアスベストが含まれているということで除去作業を行い、5月から解体工事が始まり6月上旬までかかりました。そして6月19日に地鎮祭を行い、工事の安全を祈願しました。それからの工事は、根切り、墨出し、基礎配筋と、計画通り順調に進められています。8月22日には工事中の学園を空から記念に撮影しました。



9月中旬には1日60台ものコンクリートミキサーがひっきりなしに入ってきてはまた出ていきます。工事を請け負ってくださるのは、松井建設さんですが、現場では暑い日も雨の日も工期に遅れないよう頑張ってくれています。安全第一でお願いします。今後は、11月に上棟、続いて内装工事、平成27年3月31日までは建築確認完了予定です。

